

2026 年 9 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社ハイレックスコーポレーション
 代表者名 代表取締役社長 寺浦 太郎
 (コード番号 7279 東証スタンダード市場)
 問合せ先 専務執行役員 管理本部長 奥村 真
 (TEL 0797-85-2500)

国内ドアモジュール事業の量産体制構築に向けた設備投資に関するお知らせ

当社グループは、2026 年 9 月 4 日開催の取締役会において、ドアモジュール製品の国内初受注に伴い、生産体制構築を目的とした設備投資を実施することを決定いたしました。

記

1. 設備投資の背景・目的

(1) グローバルに培ったドアモジュール事業の実績

当社グループは、韓国、北米、欧州、中国を中心にドアモジュール事業を展開し、これまで数多くの量産実績を積み重ねてまいりました。

ドアモジュールは、窓の開閉装置であるウィンドレギュレータをはじめとする複数の部品をあらかじめ一体として組み付けた状態で供給するものであり、完成車メーカーにおける生産効率向上、組立工程の簡素化、品質安定化に寄与する製品です。

(2) 国内市場におけるニーズの高まり

日本国内では、これまで単体部品を中心とした供給形態が主流であり、ドアモジュールの本格的な採用は限定的でした。

近年、労働人口減少に伴う生産現場の人的制約が顕在化する中、工程の効率化や生産性向上への対応が重要な課題となっており、こうした環境変化を背景として、モジュール化への関心が高まっております。

(3) グループの経験値と国内生産基盤を活用した事業展開

このような状況の中、当社グループは、海外で培ったドアモジュールの技術開発力、量産実績に加え、2025 年 11 月にグループ化した株式会社ハイレックスアクトの九州工場を活用した生産体制を前提に、ドアモジュール製品を国内で初受注いたしました。

製品ポートフォリオの発展段階



本受注は、日本国内におけるドアモジュール事業の本格展開に向けた第一歩であり、国内市場において先行実績を確立する重要な案件と位置付けています。

今回の受注に加えて、今後の受注拡大を見据えた量産体制を構築するため、ハイレックスアクトの九州工場において建屋を増築するとともに、当社グループのスペイン工場（2026 年 4 月閉鎖）において利用していた大型樹脂成型機を移設することといたしました。

2. 設備投資の概要

本受注に対応するため、ハイレックスアクト九州工場において、ドアモジュール製品の量産に必要な建屋の増築および生産設備の導入を行い、樹脂プレートも内製します。

(1)対象拠点	ハイレックスアクト九州工場
(2)所在地	福岡県京都郡みやこ町
(3)投資内容	建屋増築、生産設備の導入
(4)投資総額	約 12 億円
(5)稼働開始予定	2028 年 12 月予定
(6)量産対象	ドアモジュール製品



3. 本件の戦略的意義

当社グループは、従来の単体部品の供給に加え、複数の製品・技術を組み合わせ、より高い付加価値を提供するシステム提案型の事業への転換を進めております。

今回のドアモジュールの受注および量産体制の構築は、当社グループがこれまで培ってきた技術・開発力と、M&A を通じて獲得した生産基盤・技術を組み合わせ、新たな事業領域へ展開する取り組みです。

今後は、ドアモジュールにとどまらず、当社グループが有する製品・技術・生産拠点を組み合わせることによって、より付加価値の高いドアシステムを提案できる体制の構築を進め、「ドアシステムサプライヤー」への事業領域の拡大を目指してまいります。

4. 業績への影響

本設備投資に伴う当期の連結業績への影響は軽微であります。なお、今後の業績に重要な影響を与えることが判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上